**アダム・ミツキェヴィチ大学交換留学　定期レポート(11 月分)**

**生物資源科学部農林生産学科　原田大夢**

**◎はじめに**

ポーランドでの留学生活が始まって 1 ヶ月が経過しました。ポーランドに到着してからの最初の 1 週間は、不安と寂しさで頭がいっぱいになり時間が過ぎるのが非常にゆっくりでした。正直、海外で生活することを甘く見ていたところがあったと思います。何も知らない異国の地で自分 1 人だけで生活していくということがどれだけ大変であるかを身に染みて感じた 1 週間でした。その後は授業が始まり、友達と過ごす時間も増えて生活にも慣れてきたため、2 週間目から現在まで、1 週間目では考えられないほど時間が過ぎるのが早かったです。今思えばこの 1 ヶ月はあっという間でした。

今回は、ポーランド到着までの道のりや大学での新たな出会い、そしてここポズナンでの日々の生活について紹介していきたいと思います。

**◎日本からポズナンまで**

成田空港からワルシャワ・ショパン空港までの直行便を利用し、LOT ポーランド航空で約 14 時間のフライトを経てポーランドへと向かいました。空港から電車でワルシャワ中央駅へと移動し、そこから約 3 時間かけて目的地であるポズナン中央駅に到着しました。ポズナン中央駅でバディの子と合流し、滞在先であるメテオ寮まで案内してもらいました。

**◎入学オリエンテーション**

まず驚かされたのは、留学生の人数の多さでした。その数はなんと島根大学の全学生数と同じくらいで世界中から学生が集まっていることを実感しました。特にカザフスタンからの留学生が一番多く、200 人以上留学に来ているそうで、オリエンテーション会場で自国の国旗を掲げて記念写真を撮影している姿がとても印象的でした。日本人留学生はほとんどいないと思っていたのですが、実際には 15 人もいました。同じ国の子が多くて非常に心強いです。さらに驚いたことに、その中に成田からのフライトで隣の席だった子がいて、会場でお互いに目が合った瞬間は思わず声を上げてしまいました。オリエンテーションが終わった後はポズナンの街をめぐるツアーに参加し、さまざまな国から来た留学生たちとの交流を楽しむ貴重な時間となりました。

**◎授業**

今学期は 3 つの授業を履修しました。科目名は以下の通りです。

①Polish language course

②Introduction to Intercultural Communication

③Touristic attractions of Northern Europe

この授業の中で特に自分が学んでいて面白いと感じているのはやはりポーランド語の授業

です。せっかくポーランドで生活するなら少しでも現地の言葉を話せるようになりたいと思い受講を決めました。授業はすべて英語で行われるため、英語を介してポーランド語を理解するのは頭がパンクしそうになりますが、予習と復習を徹底してなんとか置いていかれないよう頑張っています。ポーランド語の先生はとても明るい人で授業はすごく良い雰囲気です。この前は、先生が風邪を引いてで声を出すのが辛いからという理由で、本来3時間ある授業がわずか1時間で終了することもありました。そんな自由でチャーミングな先生のもとで、楽しく学んでいます。

**◎ポズナンでの生活について**

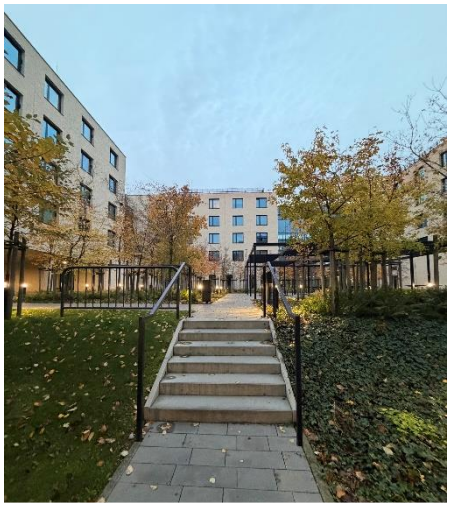
ポズナンは街全体が静かで落ち着いた雰囲気に包まれており、市街地を歩いていても他のヨーロッパ諸国と比べても断然治安が良いと感じます。言語の面では、学生などの若い世代はほとんど英語を話せる印象ですが、コンビニやレストランの店員さんなど日常のふとした場面では英語が通じないことも珍しくありません。それでも現地の人々はとても親切で、先日もスーパーのフルーツの量り売りで買い方が分からず困っていたところ、言葉が通じないにもかかわらず、ポーランド人のおばあちゃんが身振り手振りで優しく買い方を教えてくれました。あの時のおばあちゃんありがとう。食生活に関しても、ポーランドの料理はどれも美味しく満足しています。外食をする際は、他のレストランに比べて安くて量も多いミルクバーによく通っています。いろいろなミルクバーを探検した結果、最近ついに自分のお気に入りのお店を見つけました。また、私が所属している化学部の学食もクオリティが高く、そこで食べたサーモンのオーブン焼きは、今のところポーランドで食べた料理の中でNo.1 です。移動に関しても、トラムやバスなどの交通網が非常に発達しているため不便を感じることはありません。さらにポーランドは学生にとても優しい国で、国内の電車チケットが通常料金の半額で購入できたり、この前寄ったケバブ屋さんでも学生証を見せるだけで2割引にしてくれたりと、物価の安さも相まって非常に生活しやすい環境だと感じています。

**◎最後に**

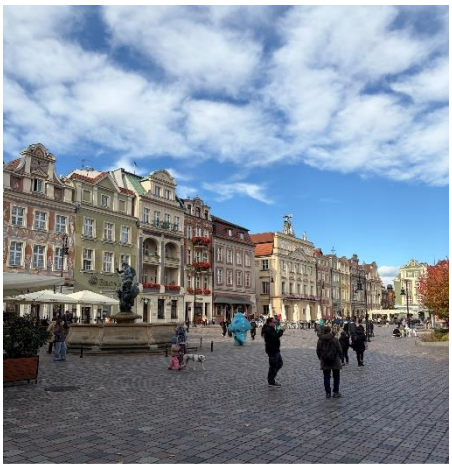
不安と困惑から始まったポーランド生活でしたが、こうして振り返ってみると、この1ヶ月間で多くの素敵な出会いや発見があり、自分自身も少しずつ前へ進めていることを実感しています。異文化の中で過ごす日々は新しい刺激に満ちており、毎日が学びの連続です。これからも1日1日を大切に噛み締めながら、残り8ヶ月の貴重な留学生活を送っていきたいと思います。



オリエンテーションの会場は教会みたいで綺麗でした。



メテオ寮の中庭です。卓球台やベンチがあります。



ポズナンの中心街の雰囲気はこんな感じです。



化学部の学食で食べたサーモンのオーブン焼きです。めちゃ美味でした。



これは、私が配属された化学部の建物です。夕焼けがとても綺麗だった時に撮った写真です。